

産業サイバーセキュリティ研究会 WG1 電力 SWG（第 12 回）議事要旨

日時 : 令和 3 年 12 月 24 日（金） 10 時 00 分～ 12 時 00 分

出席者 :

（座長） 渡辺 研司 名古屋工業大学大学院

（委員） 有村 浩一 JPCERT/CC

稲垣 隆一 稲垣隆一法律事務所

内田 忠 電力 ISAC

江崎 浩 東京大学大学院

大崎 人士 産業技術総合研究所

大友 洋一 電気事業連合会

門林 雄基 奈良先端科学技術大学院大学

桑名 利幸 情報処理推進機構

新 誠一 電気通信大学

高倉 弘喜 国立情報学研究所

谷口 浩 東京電力ホールディングス株式会社

都筑 秀明 日本電気協会（代理:金子 貴之）

手塚 悟 慶應義塾大学

議題

1. 東京オリンピック・パラリンピックの電力分野のサイバーセキュリティ対策について
2. 「大手電気事業者のサイバーセキュリティ対策状況の実態把握」に関する取組について
3. 小規模発電設備等におけるサイバーセキュリティ対策について
4. 米国サプライチェーン規制等の状況について

要旨

1. 東京オリンピック・パラリンピックの電力分野のサイバーセキュリティ対策について

- (1) 「東京オリンピック・パラリンピックの電力分野のサイバーセキュリティ対策について」を事務局より説明。
- (2) 「東京オリパラ大会におけるサイバーセキュリティ対策の実施結果」を電気事業連合会より説明。
- (3) 自由討議
 - 東京オリンピック・パラリンピックについて、電力供給停止に繋がるインシデントの発生は生じなかった。今回の経験を蓄積・共有していくことが重要。
 - 自然災害とインシデントの同時発生を考慮した訓練を実施すべき。

2. 「大手電気事業者のサイバーセキュリティ対策状況の実態把握」に関する取組について

- (1) 「2021 年度「大手電気事業者のサイバーセキュリティ対策状況」の実態把握について」を電気事業連合会より説明。
- (2) 自由討議
 - サイバーセキュリティ対策状況の実態把握を通じて、経営層を巻き込んだ対応策の検討を実施することが重要である。
 - 業界全体のセキュリティ対策の底上げに向けて、大手電気事業者で実施した内容を小規模電気事業者へ共有できるとよい。
 - 電力分野を取り巻く環境の変化に対応して、評価項目を随時更新することが重要である。

3. 小規模発電設備等におけるサイバーセキュリティ対策について

- (1) 「小規模発電設備等のサイバーセキュリティ対策に係る検討について」を事務局より説明。
- (2) 自由討議
 - ネットワーク接続点の保護は重要であるため、その責任の所在について明記できるとよい。
 - 対策実装例の実効性を上げる施策を引き続き検討する必要がある。特に、対策実装

に当たってのコストの問題を検討する必要がある。

- 電力分野以外にガス・水道・ビル等の他分野を複合したサイバーフィジカル空間に求められる対策を今後検討できるとよい。

4. 米国サプライチェーン規制等の状況について

(1) 「米国サプライチェーン規制等の状況について」を事務局より説明。

(2) 自由討議

- サプライチェーンは製品・部品以外に情報や人材まで範囲として含まれる。注目すべき範囲を適宜広げた上で、情報や人材のサプライチェーンへの考慮が望まれる。

(以上)

お問い合わせ先

資源エネルギー庁 電力産業・市場室

電話：03-3501-1748